

番 号	国 4	区 分	国指定文化財
種 別	重要文化財	所 有 者	個 人
名 称	林家住宅		
指定年月日	平成13年6月15日		
所 在 地	南木曾町吾妻 (中町)		

概 要

林家は、戦国時代木曾氏の家臣であったが、江戸時代になってからは妻籠宿の庄屋・問屋・脇本陣を務めた家である。この住宅は、明治9年から12年にかけて、古い建物をとりこわして新築された。明治に建てられたものであるが、脇本陣としての格式と構造を保っており、江戸末期から明治初年にかけての大規模な宿場建築として重要である。使用された材料もよく、仕事も丁寧で、改造された点も少なく、よく当初の形をとどめている。

また『明治10年丑5月吉日』と墨書された棟札1枚と、同14年巳5月吉日付の『家普請諸留記』1冊があつて、建築の由来が明確で、当時の住宅の代表として貴重である。

現在は南木曾町博物館を構成する脇本陣奥谷として一般に公開されており、林家に関する資料も見ることができる。詳細は『妻籠宿脇本陣林家住宅調査報告書』（平成11年3月31日発行）にまとめられている。

